

# どうし 議会だより

NO. 58



定例会（令和4年度一般会計補正予算他）・2  
臨時会・3  
令和5年度一般会計予算・4  
一般会計予算討論・6  
議案等の質疑・8  
一般質問・10  
議会活動報告・12  
あの一般質問は今・14  
活躍する団体紹介（民生委員・児童委員協議会）・15  
がんばる人紹介（バンド「バカの集まりですいません」）・16

## 道志村 頼朝伝説

文治3（1183）年、鎌倉幕府将軍源頼朝公が富士に巻き狩りの帰り道志村に立ち寄り武道の鍛錬を行う。これが道志村頼朝伝説の始まりです。

## 頼朝の豪弓

源頼朝が富士の巻き狩りの帰りに、矢頭山の山頂から放った矢が一里も離れた矢崎まで飛んだ古事が伝わり祠を立て毎年4月に村人集い祭礼が行われている。

おもな審議事項

● 条例制定 (3件)

- ・ 道志村個人情報保護法他

● 令和4年度一般会計補正予算(第8回)  
37,388千円の減額を可決

おもな財源 (補正分)	村税	6,039千円
	地方消費税交付税	2,157千円
	国庫支出金	△ 3,340千円
	県支出金	△ 4,341千円
	繰入金	△ 40,557千円
	諸収入	2,297千円
おもな 使いみち (補正分)	議会費	△ 2,068千円
	総務費(ふるさとづくり事業費他)	△ 30,516千円
	民生費(生活困窮者緊急生活支援事業費他)	△ 17,841千円
	衛生費(すこやか子育て医療助成事業費他)	△ 9,144千円
	農林水産業費(林業振興費他)	△ 10,785千円
	土木費(道路維持費他)	△ 15,977千円
	商工費(観光キャラバン事業他)	△ 4,778千円
	消防費(災害対策事業費他)	△ 8,347千円
	教育費(教育振興費他)	△ 3,622千円

● 指定管理者の指定 (1件)

- ・ 道志森のコテージの指定管理者の指定

● 令和4年度一般会計補正予算を可決  
● 令和5年度一般会計予算を可決  
● 特別会計予算その他議案を可決



- 「会期」3月7日～17日
- 条例制定 (3件)
  - 条例改正 (7件)
  - 令和4年度一般会計補正予算
  - 特別会計補正予算 (8件)
  - 令和5年度一般会計予算
  - 特別会計予算 (7件)
  - 指定管理者の指定 (1件)
  - 指定管理者の指定期間の変更 (1件)

おもな審議事項

● 令和4年度一般会計補正予算(第7回)  
44,565千円の増額を可決

おもな財源 (補正分)	国庫支出金・県支出金	537千円
	地方債	1,400千円
	一般財源	42,628千円
おもな 使いみち (補正分)	物価高騰対策支援事業	8,685千円
	出産・子育て応援交付金事業	580千円
	農村地域防災減災事業	1,600千円
	長又残土処理場安全対策事業	33,700千円

- ・ ちなみ&きんし育英基金の設置及び管理に関する条例を可決
- ・ 令和4年度一般会計補正予算を可決
- ・ 残土処分場野原地区の土地取得を可決
- ・ 訴訟上の(一部)和解について、長又残土処理場安全対策事業を可決

〔会期〕2月7日  
● 令和4年度一般会計補正予算  
(4件)

臨時会

議案等の  
提案理由

**A** 久保地区出身の佐藤稔氏からの教育費指定寄付金を充て高等学校に在学する生徒を持つ家庭の経済的負担を軽減し、子供たちが安心して学習できる環境の提供を目的に育英基金を設置いたしました。

**Q** ちなみ&きんし育英基金の設置及び管理に関する条例の目的は

**A** 道志村字子ツ沢1480番地の山林(8,883.92㎡)を村資産として取得し、バイパス工事残土処理用地として活用する目的です。

**Q** 国道413号線道志バイパス野原月夜野トンネル残土処理用地取得の目的は

## 令和5年度一般会計予算

# 22億7,639万円を可決

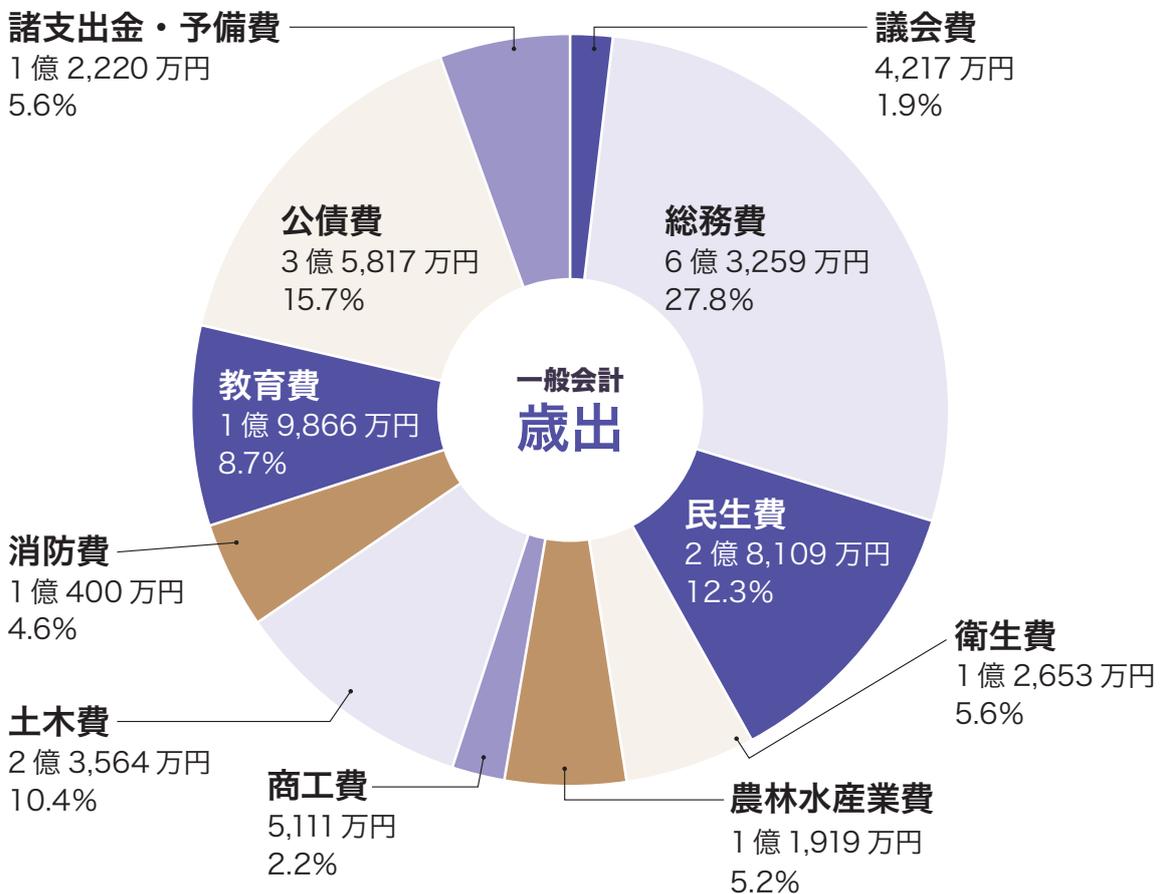
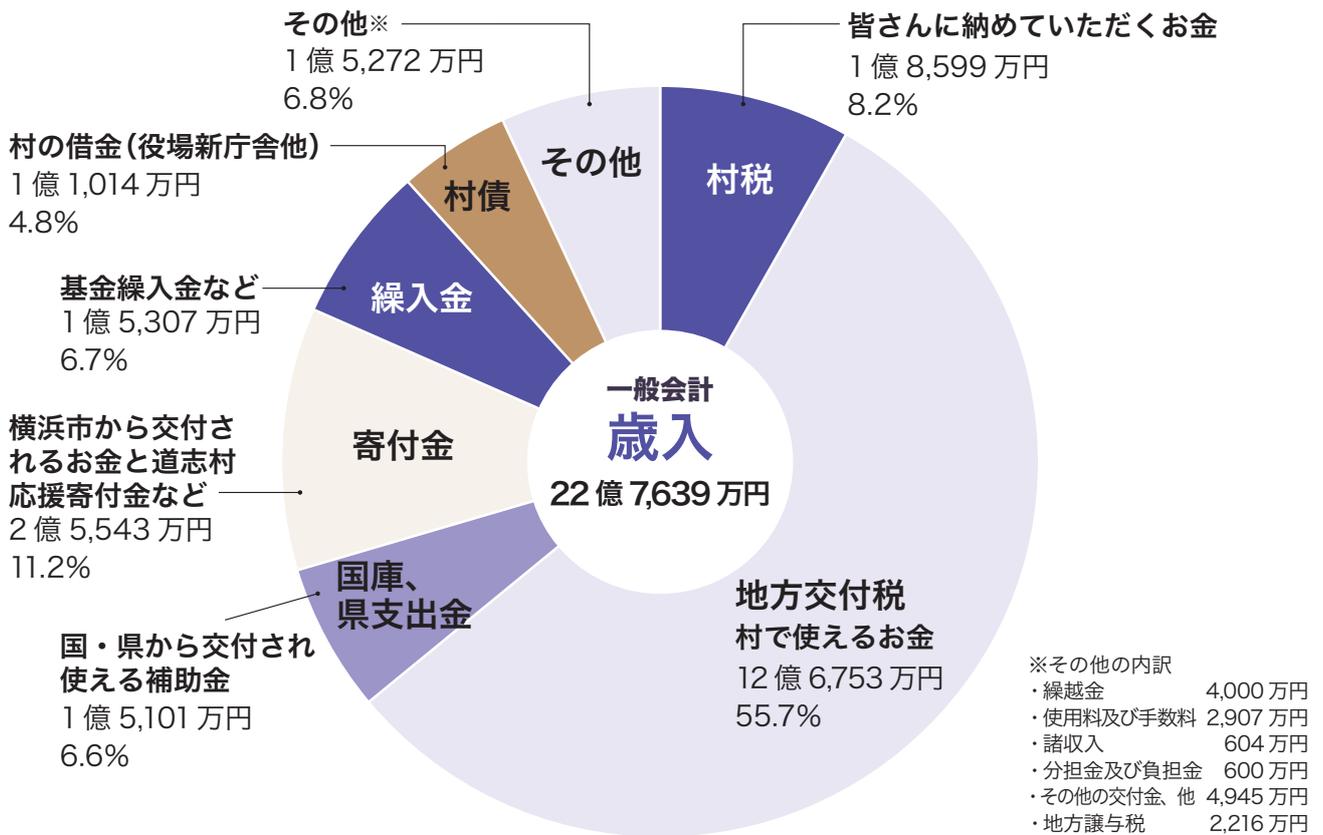
前年度比  
17.2%減

総務課	●公有財産管理事業	1,550万円	●庁舎維持管理事業	772万円
	●広域常備消防事務委託事業	8,335万円	●役場新庁舎整備事業	1億5,411万円
	●防災行政無線管理事業	506万円	●消防団活動事業	1,132万円
	●災害対策事業	209万円	●公用車管理事業	543万円
ふるさと 振興課	●情報通信施設管理事業	2,343万円	●ふるさと納税事業	9,058万円
	●移住定住促進事業	457万円	●創業支援事業	100万円
	●公共交通対策費	1,900万円	●サテライトオフィス事業	7,295万円
住民健康課	●保育所	6,745万円	●重度心身障害者医療費助成事業	650万円
	●児童手当支給事業	1,445万円	●コロナワクチン接種事業	572万円
	●すこやか子育て医療費助成事業	434万円	●温泉施設入浴料助成事業	382万円
産業振興課	●環境保全事業	5,180万円	●観光維持管理事業	1,205万円
	●農村地域防災減災事業	1,440万円	●村道新設改良事業	1,430万円
	●村道橋梁維持事業	6,096万円	●森林環境譲与税事業	3,901万円
教育委員会	●学校給食事業	2,374万円	●英語教育推進事業	546万円
	●スクールバス委託事業	3,339万円	●学校ICT環境整備推進事業	531万円
	●高等学校就学助成事業	1,224万円	●入学祝金支給事業	75万円

## 令和5年度 特別会計予算

会計名	令和5年度予算	令和4年度予算	前年度比
国民健康保険	2億7,076万円	2億7,242万円	△0.6%
国民健康保険診療所	1億1,158万円	1億3,635万円	△18.2%
簡易水道事業	1億5,157万円	1億63万円	50.6%
介護保険	2億1,439万円	1億9,938万円	7.5%
介護保険サービス事業	129万円	79万円	62.3%
浄化槽事業	1億8,034万円	1億4,095万円	27.9%
後期高齢者医療	5,066万円	4,768万円	6.2%
合計	9億8,061万円	8億9,823万円	9.2%

※数値は万円単位に調整してあります。千円以下切り捨て。



※数値は万円単位に調整してあります。千円以下切り捨て。

討論 議案第 22 号

令和 5 年度道志村一般会計予算

反対討論



佐藤 徹 とおる

はじめに、道の駅どうし使用料は土地代の 245 万 3 千円の歳入見積のみで、施設使用料がありません。指定管理者に管理運営を委託している施設は他にもあり、他の施設も赤字の場合も使用料を支払わなくてもいいのでしょうか。委託契約に基づき支払っています。道の駅どうしにおいても、初めから施設使用料を支払う義務がないと思っ

めにも、施設使用料の歳入見込みを行うべきだと思います。

次に、歳出 2 款 1 項 5 目に計上されている、「サテライトオフィス改修費」ですが、現在の道志村サテライトオフィスの稼働率は低く、サテライトオフィス使用者のニーズも変わりつつあります。施設を改修する前に、産官民連携の推進体制の整備、施設改修の検討、使用者の誘致方法、企業誘致や進出企業の定着方法などを検討し、使用者のニーズにあった施設整備が必要だと思えます。

また、現道志村サテライトオフィスは 4 年が経過するが、村長はトップセールスして誘致すると言っていたが 1 回横浜市で誘致活動をしたのみで、この事業への村長の意気込みは見られません。

施設整備は行っても国の交付金を活用すると、使用状況等に対して会計検査も実施されま

す。使用率が悪く交付金の返還につながる一般財源で返還となります。施設のランニングコストも 500 万円から 600 万円かかるという説明があったが、約半分は一般財源で賄うので、厳しい財政状況に拍車をかけることとなります。その時の職員の仕事量の増加は避けて通れません。事業執行はリスクが大き過ぎます。改修事業費約 6840 万円の予算計上は村民の理解を得られないのではないのでしょうか。

サテライトオフィス改修整備費及び関係経費の減額を行うべきだと思います。

現在、ガソリン、灯油等の価格高騰、食料品等の値上がりにより、社会情勢は大変不安定な状況で一般家庭の生計も厳しい状況です。この状況はいつまで続くのかもわかりません。村において事業の見直しを行い、先の見えない状況での新規事業

は費用対効果の実証及び先進事例等の課題についても検討を行うべきだと思います。私は、個々の事業について村当局が、どのような議論と検討がされたのか、疑問を感じます。

賛成討論



杉本 孝正 たかまさ

一般会計予算は、子育て支援の充実、人口減少対策では単身用住宅設計予算計上。

サテライトオフィスにおいては国のデジタル田園都市国家構想交付金の 4 分の 3 の有利な交付措置が受けられ、国が認めた事業であり、完成後はこれまでの反省を踏まえ産官民連携した体制で村の発展に貢献してもらいたいと思います。

道の駅どうしの使用料減免はコロナ禍で来客数の減少により

賛成

5名

山口 章  
佐藤喜章  
白井勝光  
杉本孝正  
大田博文

反対

4名

佐藤光栄  
池谷銀重  
佐藤 徹  
佐藤 進

※議長は採決に参加しない

売上が落ちているが、コロナが落ちつき今年度の売り上げは増加傾向にあり来期の売り上げは増額が見込まれ来年度の使用料は支払い可能となると思いますので賛成します。

賛成討論



ひろふみ 大田博文

サテライトオフィスを最大限活用することで村内の活性化を図り移住者の増加、企業誘致で雇用の創出をすることも見込めます。

デジタル田園都市国家構想の多額の交付金も活用しての誘致事業に期待がもてます。サテライトオフィスを中心に産官民提携の推進体制を整備することで、それぞれの長所を活かした企業誘致や進出企業の定着方法を検討でき、地域内の賑わいも期待される。

以上の理由で賛成します。

討論 議案第30号

## 道志森のコテージの指定管理者の指定について

反対討論



すすむ 佐藤 進

道志森のコテージの指定期間は現在の契約だと今年度までの3年間だったが、本議案は令和

5年4月1日から令和6年3月31日までの1年間です。議員協議会で指定期間を1年間にした理由を伺ったところ、指定管理者となる団体の管理運営に対する取り組み姿勢が見込めないとの回答であったが、令和3年3月定例会協議会において、道の駅どうしの指定管理者の指定について、論議した時、管理運営

に改善が見られず、毎年多額の財政支援を村が行っているの、指定期間を1年にすべきだとの意見があったが、村は3年間の指定を主張し承認された。道の駅どうしは指定期間3年間にし、同じような状況で道志森のコテージは1年間にするのは公平性が欠けていると考えられます。また、1年間だと管理運営の改善を行う上でも支障をきたすものと考えます。

私は、指定期間を令和5年4月1日から令和8年3月31日までの3年間に修正すべきだと思います。本議案に反対いたします。

賛成討論



よしあき 佐藤喜章

観光協会の専従の職員が、本来の事務において、森のコテージで薪作りなどの作業を行って

いることが見受けられます。作業が悪いとは言いませんが、本来の観光協会としての業務は、観光客の増加対策、村の魅力を発信すること、観光PR、イベント開催などと思います。そのことをおろそかにし、森のコテージで作業することなどは論外です。村から300万円の補助金もでています。コロナ禍とは

いえ、本来の業務がおろそかになっているように思えます。観光協会としての本来の姿になるように業務改善を行う時間としての1年間は妥当です。業務改善後の再委託は何も問題がないと村でも言っています。より良い状況にもらうための1年間の指定期間は妥当なものと考え、賛成の討論といたします。

Q サテライトオフィス改修の是非及び利用者募集の見通しは

A

デジタル田園都市国家構想交付金の内示を受け、前回の改修では利用者のニーズにこたえきれない部分がありましたので、今回はそのようなことのないように十分に検討し、設計図は出来上がっています。また利用者募集については、役場内では、ふるさと振興課だけでなく全庁が連携し取り組みします。市場調査などは、外部業者に



サテライトオフィスワーキングスペース

委託を考えています。議会の皆さんにもご協力をお願いし、この事業が成功するようしっかり取り組みます。

Q 「道の駅どうし」のコロナ禍及びコロナ後の経営状況と指定管理者「(株) どうし」を変更してはどうか

A

売上、客数共順調に上がっています。しかし電気料金や仕入れ価格が高騰し利益率は思わしくありませんが、買い物弱者対策としての移動販売を含め、引き続き努力いたします。指定管理者の変更は今のところ考えておりません。指定期間終了時の対応とさせていただきます。



移動販売風景



新しい夏用制服

Q

中学校新制服の夏用シャツ無料支給枚数が1枚となっておりますが、夏場なので洗濯の回数も増え1枚では足りないと思います。追加できないでしょうか

A

支給枚数については検討いたします。



森のコテージキャンプ場

Q

森のコテージ指定管理者（道志村観光協会）の受託期間を令和5年4月1日から令和6年3月31日までの一年間とした理由は

A

通常受託期間3年間を今回1年間とし、指定管理者である観光協会の業務改善を求めました。



よしあき  
佐藤 喜章 議員

## 新年度予算の重点施策は

**村長** サテライトオフィス改修  
による経済活性化

### ◎ 本年度予算の重点施策は

**A** (村長) 令和5年度の当初予算では、サテライトオフィスの改修を予定しております。これは、国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用し、利用者の

増加による都市住民との交流で地域の活性化を図るものです。また、地域活性化企業人事業で、企業から社員を派遣させ、企業の持つ知見やノウハウを活かして、村の魅力や価値を洗い直し、経済の活性化を図ります。



サテライトオフィス

### ◎ 413号の大渡トンネルの進捗状況は

**A** (産業振興課長) 現在、野原及び大渡地内において、114メートルのトンネル工事の進入路となる部分の道路改良工事を進めており、来年度からトンネルの掘削工事にとりかかる予定とのことです。3月13日には国道

### ◎ ちなみ&きんし 育英基金の周知と使い道は

**A** (教育委員会課長) 広報どうし5月号に掲載する予定です。令和5年度に高等学校に在学する子どもがいる家庭に、基金の内容及び助成の主旨を周知いたします。また、使い道につきましては、寄付していただいた佐藤氏の意向を踏まえ、高等学校に在学する子どもがいる家庭に対する助成のため、他の使い道は現時点では考えておりません。



国道413号1号(仮称)トンネルの安全祈願祭

### 「ちなみ&きんし 育英基金」概要

令和4年度に教育寄付として受けた寄付金は、寄付者の意向により、基金として積み立てられ、令和5年度から就学する高校生ひとりに対し、月額2万円を支給するものです。



佐藤 光榮 議員

◎ 村長の3期の実績と今後の行政運営は

Ⓐ (村長) 就任時より、若者が定住でき、安心・安全で豊かな村づくりは、交通インフラの整備こそが未来の道志村への第一歩だと訴えてきました。そのことから、県に対して交通網の強靱化を強く要望し、国道413号の危険箇所対策工事が急ピッチで進められ、令和3年7月に雨量による交通規制が解除されました。さらに、神奈川県方面へのアクセス向上のため進められていた国道413号1号トンネル(仮称)が大渡地区で着工されるなど、目に見えて進んでまいりました。同時に、県道都留道志線の防災トンネルを含む整備計画も事業化できるよう、県と協

力しながら取り組んでおります。その他、学校教育では一体型校舎を活かした小・中連携教育を充実させたほか、健康長寿社会を推進するため、65歳以上の住民を対象に実施している「温泉施設入浴料助成事業」で、高齢者の交流の機会を創出し、健康の保持増進、介護予防に資

3期10年の実績、今後の行政運営は

村長 「住んで良かった村、住んでみたい村」作りに努めています



トンネル出入口付近

する事業を実施してまいりました。また、ふるさと納税では、返礼品を充実させ、寄付額的大幅な増額を実現しております。今後も様々な分野で、住民の皆様が安心・安全で豊かな暮らしを実感できるような施策に取り組んでまいります。

◎ 村政運営を行う上で、法律、条例、規則等を遵守して行っているか

Ⓐ (村長) 法律、条例、規則等については、遵守しております。

◎ 村長選挙の不正投票疑惑は

Ⓐ (村長) 私自身、一切その件には関与しておらず、現在捜査が進められているとのことなので、責任や進退に関して現時点では考えていません。

◎ 公約の実現を親族に邪魔されているが、親族をどう思うか

Ⓐ (村長) 先ほどの答弁と同様、お答えする段階ではないと思っております。

12/14

建設厚生  
常任委員会



完成した法面

竹之本地区法面工事（役場庁舎建設予定地北側）の下請け金額について、議員5名及び議長が出席し担当課より説明を受け、協議いたしました。

2/6

第38回山梨県  
市町村自治講演会



講演する須田慎一郎氏

ジャーナリストの須田慎一郎氏の講演会が甲府市総合市民会館において「どうなる政治・経済〜コロナ終息後の世界と日本〜」と題しておこなわれました。  
現在日本の置かれている状況や、コロナ終息後の日本についての話のなかで、道志村の今後についての参考にするよう、議員9名が参加しました。世界を飛び回っている須田氏の世界観を目の当たりにして、目の覚める思いでした。この思いを村政に生かしてゆきます。

1/25

総務文教  
常任委員会



要望書の提出

「通学路危険個所の要望書」提出  
総務文教及び建設厚生常任委員会合同で、小中学校通学路の危険個所調査を行いました。  
見通しの悪いカーブでの乗降や乗降場所に行くまでの通学路の危ない通路、バス運転手の見やすい位置にカー

ブミラー設置、などすぐにも改良してほしいところも含まれていますので、至急調査し対応してほしいと要望いたしました。早速調査確認し、対応するとの回答をいただきました。

2/23

## 富士山の日 2023



富士山世界遺産登録10周年を記念して、静岡県沼津市において、富士山の顕著な普遍的価値に対する一層の理解を深め、保全に向けた想いを後世に継承していくため、「富士山の日フェスタ2023」が山梨県、静岡県両県の共催の形で開かれました。村議会を代表し出羽議長が出席いたしました。

2/16

## 令和4年度議会 広報クリニック に参加

東京都千代田区全国町村議員会館において開催され委員全員で参加いたしました。第一会場には金井先生を迎え関東地方5町村の「議会だより」が提出され指導を受けました。

当村の「どうし議会だより第57号」を提出、クリニックを依頼しチェックを受けました。レイアウト、文字配列など数々の指摘、指導を頂きました。今後の「議会だより」作成の参考にし読みやすく魅力ある広報紙を作っていきます。



広報クリニック研修風景

3/17

## 議会活性化推進 特別委員会設置 及び委員の選任 並びに付託

特別委員会については議会の改革を推進するため、議員の定数及び報酬など調査、研究を行い、議会の活性化を目的に、委員9名で構成する特別委員会を設置する。

12月定例会以降のおもな活動

- 12月14日 (水) 建設厚生常任委員会

---

- 1月7日 (土) 消防出初式

---

- 1月8日 (日) 20歳のつどい

---

- 1月25日 (水) 総務文教常任委員会  
要望書提出

---

- 2月6日 (月) 山梨県市町村  
自治講演会

---

- 2月7日 (火) 臨時議会第1回

---

- 2月16日 (木) 町村議会  
広報クリニック

---

- 2月20日 (月) 後期高齢者医療  
広域連合議会定例会

---

- 2月21日 (火) 町村議会議長会

---

- 2月23日 (木) 富士山の日フェスタ  
2023

---

- 3月1日 (水) 議会運営委員会

---

- 3月1日 (水) 広報常任委員会

---

- 3月1日 (水) 富士東部広域環境  
事務組合定例会

---

- 3月7日 (火) 第2回定例議会初日

---

- 3月9日 (木) 中学校卒業式

---

- 3月17日 (金) 小学校卒業式

---

- 3月17日 (金) 第2回定例議会  
最終日

令和2年12月定例会

Q は 地籍調査の登記状況

A 測量自体は終了し図面の作成がされましたが法務局の登記に手間が掛り明確な時期は不明です。

その結果今は



測量風景

現在、長又・白井平・大室指3地区の登記が済みました。その他地域については随時進行しております。登記完成にはまだ時間が掛かる見込です。

議会の考え

平成16年測量を始め令和4年度現在完成に至っておりません。早期に完成させ住民が利用できるように要望します。



民生委員・児童委員  
協議会

会長 松岡

住雄<sup>すみお</sup>



民生委員の皆さん

担当地区	氏名
月夜野～大渡	出羽 千代美
野原～久保	佐藤 てる子
笹久根～大室指	出羽 法子 (副会長)
椿～小善地	大房 保夫 (副会長)
大栗～馬場	佐藤 俊子
竹之本	佐藤 一恵
東和出村	杉本 英子
西和出村	松岡 住雄 (会長)
谷相～川原畑	佐藤 建蔵
大指～釜之前	杉本 長仁
東神地～中神地	山口 富士男 (主任児童委員)
下中山～上中山	佐藤 豊明 (会計)
下善之木～上善之木	杉本 小代美
川村～板橋	長田 和夫
下白井平～長又	水越 ひさみ (主任児童委員)

生活の相談役、  
つなぎ役としての民生委員会

昨年12月に全国で改選が行われ定員24万人(欠員1500人)の方が厚生労働大臣より委嘱を受けボランティア活動を始めました。山梨県内では2461名、わが道志村では15名(新任13名、元委員1名、再任1名)の民生委員が各地域に配置されており、生活上の様々な事柄に相談を受けております。役場、社会福祉協議会、その他関係先との「つなぎ役」として日々活動

しております。何か困りごとがあれば民生委員と世間話でもしてみませんか。  
民生委員会では今年2月、3月の定例会において村診療所の松田医師の指導を受け、AED(体外式除細動器)の研修を実施、2組に分かれて体験いたしました。いろいろな場所でAEDを見かけますが、いざという時のために体験しておくことが必要だと感じたところです。



りょう 佐藤綾 たくま 佐藤徳磨 ほのん 城平波音 こうしろう 山本高之朗

私たちは2019年に結成した4人組バンド「バカの集まりですいません」祭りをはじめ様々な場所でライブを行い、今はバンド名の通り一緒にバカになれる空間を作ることが目標として活動しています。私たちのオリジナル曲の「地域密着型バンド」と言う曲名の通り、やまゆりセンター

ライブを行い道志村の知名度アップ

バンド  
「バカの集まりですいません」



やまゆりセンター祭りでのライブ風景

祭りや、キャンプ場でのライブなど地域のイベントに積極的に参加し、自分たちの育った道志村を盛り上げたいと思っています。また、富士吉田市のQ・S・T・Aライブなどを通し、村外の方に道志村のことを知ってもらい興味を持ってもらおうと頑張っています。今後も活動を続けていきますので是非ライブにいらしてください。

6月  
定例会

編 集 後 一 記

10年に一度の大寒波も過ぎ、日々春らしくなりました。

世界各地で猛威を振るった新型コロナウイルス感染症も2類から5類に移行する運びとなり、3年ぶりにマスク制限、行動制限も緩和されコロナ前の社会に戻ろうとしています。3月定例会では新庁舎整備事業、サテライトオフィス事業等審議可決し17日閉会しました。これからも山積みされた課題に向き合い村の発展、村民の暮らし向上のために努力していきます。読みやすい議会だよりの作成に努めます。今後ともよろしくお願ひします。(杉本 孝正)

広報常任委員会

委員長	杉本 孝正
副委員長	山口 章
委員	佐藤 喜章
委員	白井 勝光

6月6日(火) 開会予定